

## 皆で百周年を成功させよう！

### 広島支部



募金活動の輪がカープのように全国に広がることを祈つて…

去る6月30日。今年度の支部総会を昨年と同じリーガロイヤルで開催した。

四極会本部の石川会長、そして百周年記念事業募金推進の玉井委員長の出席のもと午後6時半にスタート。司会は毎回お馴染みの梶本宏美さん。紅一点だ。

**梶本**「只今より広島支部の総会を始めます。まず品川支部長の挨拶です」

**品川**「カープファンが広島だけではなく全国どの球場でもスタンドを真っ赤に染めています。これはカープ球団の地道な努力の結果です。翻つて我が母校経済学部の百周年の募金活動の輪がカープ同様全国に広がることを祈っています」

続いて石川公一会長から大学の現状、4年後の大学創立百周年記念事業について詳しい説明があつた。

**石川**「私の使命は、百周年事業を成功させることです。是非広島支部の皆さんご協力の程宜しくお願いします」と力強く述べられた。次に、玉井小委員長からも百周年記念事業の募金活動についての説明があつた。

**玉井**「とにかく成功させんといけんのです。皆さん宜しく！」

と熱く語られた。

そして、総会。議題に則つて進行。全ての議題が承認された。

司会の梶本さんが

**梶本**「皆さん、エレベーターで

32階から1階へ降りてください。玄関ロビーで記念写真を撮ります」

**撮影班**「皆さん、表情が硬いです、笑つてください！」との声掛けに思わず皆さん笑つてしまつた。再び32階へ。ここから

は司会が中山幹事。もう何回も経験しているので慣れたものですが、

**中山**「では乾杯の音頭を柚崎先輩、お願ひ致します」

**柚崎**「皆さんにこうして会えるのを嬉しく思います。広島支部の益々の発展を祈念して乾杯！」

和やかな懇談がスタート。そ

れぞれのテーブルで会話が弾む。名刺交換をしている方もいるし、握手をして再会を喜んでるし、握手をして再会を喜んでる。こういう光景は見ていて実にいいものだ。

いる姿も見える。積極的に先輩の席に行き名刺を渡す若手もいる。このように光景は見ていて実にいいものだ。

**中山**「それでは恒例のスピーチの時間です」と次々に指名して、自分の近況や初めて参加した者は自己紹介をした。みんなに自分を知つてもらういい機会だ。

**中山**「ここで炎のストッパーと呼ばれた広島カープの津田恒美投手の野球人生のDVDの上映です」

カープファンはこの津田に夢を託したが、32歳の若さで旅立つてしまつた。

最後は校歌、鴻岡寮寮歌。全員で声高らかに歌つた。中締めは有永先輩だ。

**有永**「何とかみんなの協力で百周年を成功させよう！」と力強い宣言があつた。

▼出席者（敬称略）

【来賓】石川公一会長（大13）、

玉井鉄之理事（大25）

【会員】柚崎博、大橋晃（大5）

有永哲郎（大10）、佐々木孝文（大12）、品川敏樹（大16）、坂

井進（大18）、野田初男（大19）、

荒木一悟（大20）、志麻孝幸（大22）、宗久善紀（大24）、井門宣之（大28）、中山晴喜（大34）、

佐伯安史（大36）、小山文人（大37）、梶本宏美（大50）、井尾義文（教育学部S43年卒）、尾熊良一、佐藤康久（工学部10回）

井上俊博、入江秀和（工学部13回）